

2018年8月3日
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟
一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟

インドネシア2018アジアパラ競技大会水泳競技日本代表推薦選手について（変更後）

《身体障がい者水泳連盟選手》 男子14名 女子15名 計29名

2018年1月10日付で日本代表推薦選手の選考基準と方針及び選手プロセスを公表
2018年3月4日付で推薦候補標準記録を突破した選手を公表、合宿など実施
2018年6月7日付で候補選手へJPC派遣方針などを受けて現状と方針の再確認を配布
等を行うとともに、世界パラ水泳連盟公表のアジアパラMQSランキングなどから推薦選手
の検討を行ってきました。

このたび日本パラリンピック委員会へ推薦選手として次の選手を推薦することに決定した
ので、お知らせします。

なお、当連盟の推薦は次に記載した考えに基づいて順位付けをしています。

- ① シングルクラス成立におけるメダル獲得予測
- ② コンバインにおけるWPSポイントに基づくメダル獲得予測
- ③ ①②に基づく個人金メダル予測数から優先
- ④ その他リレー候補、2024年に活躍が期待できる次世代選手、リレー補欠選手、強化
指定選手などを加味

推薦順位と選手氏名

1 木村敬一、2 鈴木孝幸、3 山田拓朗、4 一ノ瀬メイ、5 富田宇宙、6 池あいり、
7 齋藤元希、8 江島大佑、9 辻内彩野、10 成田真由美、11 宇津木美都、
12 中村智太郎、13 久保大樹、14 水上真衣、15 森下友紀、16 小野智華子、
17 細川宏史、18 浦田愛美、19 荻原虎太郎、20 長野凌生、21 小池さくら、
22 奈良恵里加、23 桑田幸仁、24 小山恭輔、25 窪田幸太、26 加藤作子、
27 岡部歩乃佳、28 石浦智美、29 笠本明里、

* 推薦された選手が結果的に日本代表に選考されなかった場合、既に注文されたユニフォー
ム等経費については負担が生じますので、ご了承下さい。

* 小山選手についてはクラス分け上訴が却下され、S7/SB7/SM7 となったが、春季記録会
の記録がS7と認定されたため、50m自由形において評価され順位が繰り上がった。

参考 1

推薦選手選考対象種目

	名前	50m 自由形	100m 自由形	200m 自由形	400m 自由形	50m 背泳ぎ	100m 背泳ぎ	50m 平泳ぎ	100m 平泳ぎ	50m バタフライ	100m バタフライ	150m 個人メドレー	200m 個人メドレー
1	木村 敬一	○	○		○		○		○				○
2	鈴木 孝幸	○	○	○				○				○	
3	山田 拓朗	○	○						○				○
5	富田 宇宙	○	○		○						○		○
7	齋藤 元希		○		○		○		○		○		○
8	江島 大佑	○	○				○		○				
12	中村 智太郎	○	○						○				
13	久保 大樹	○	○				○		○		○		○
17	細川 宏史		○		○								
19	荻原 虎太郎	○	○								○		
20	長野 凌生	○	○				○		○				
23	桑田 幸仁	○	○			○	○						
24	小山 恭輔	○	○		○								
25	窪田 幸太	○					○						

	名前	50m 自由形	100m 自由形	200m 自由形	400m 自由形	50m 背泳ぎ	100m 背泳ぎ	50m 平泳ぎ	100m 平泳ぎ	50m バタフライ	100m バタフライ	150m 個人メドレー	200m 個人メドレー
4	一ノ瀬 メイ	○	○		○		○		○				○
6	池 あいり	○	○		○		○		○				○
9	辻内 彩野	○	○		○		○		○		○		○
10	成田 真由美	○	○	○		○			○				
11	宇津木 美都	○	○		○		○		○				○
14	水上 真衣	○	○						○				
15	森下 友紀	○	○				○				○		○
16	小野 智華子	○	○		○		○						○
18	浦田 愛美	○	○		○		○		○				
21	小池 さくら	○	○		○		○		○	○			○
22	奈良 恵里加	○	○										
26	加藤 作子	○	○	○								○	
27	岡部 歩乃佳	○	○				○						○
28	石浦 智美	○	○		○		○		○		○		○
29	笠本 明里		○				○						

* 2018年 WPS 競技規則変更に伴うバタフライについては、泳ぎと記録及び順位が不確かなため、選考対象種目とはしていますが、該当する選手のメダル計算からは外していません。

《知的障害者水泳連盟選手》 男子9名 女子8名 計17名

2018年1月10日付で日本代表推薦候補選手の選考基準と方針及び選手プロセスを公表

2018年3月4日付で推薦候補標準記録を突破した選手を公表

2018年4月30日付で推薦候補選手へ現状と選考方針を再確認

等を行うとともに、世界パラ水泳連盟公表のアジアパラ MQS ランキングなどから推薦選手の検討を行ってきました。

このたび日本パラリンピック委員会へ推薦選手として次の選手を推薦することに決定したので、お知らせします

なお、当連盟の推薦は次に記載した考えに基づいて順位付けをしています。

- ⑤ 選手選考大会(3月大会および6月大会)における記録の各種目上位3名
- ⑥ ①に該当する選手の中で、各種目のアジアパラ大会MQSランキングに基づく個人上位メダル獲得予測から優先

推薦順位と選手氏名

1.東海林大、2.北野安美紗、3.福井香澄、4.芹澤美希香、5.中島啓智、6.木下萌実、7.田中康大、7.渡邊麗美、9.井上舞美、10.津川拓也、10.出口舞、12.坂倉航季、12.高木紗知、12.林田泰河、15.宮崎哲、15.村上舜也、17.出口瑛瑚

この決定情報は、日本身体障がい者水泳連盟ホームページ(<http://new.paraswim.jp/>)及び日本知的障害者水泳連盟ホームページ(<http://jsfpid.com/>)に掲載いたします。

インドネシア2018アジアパラ競技大会日本代表「推薦選手」選考委員会

委員長 櫻井誠一

一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟東京オフィス

住所: 〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル4階

パラリンピックサポートセンター内

E-mail: jpsf-information@paraswim.jp Fax: 03-6229-5420

※取材に関するお問い合わせはメールもしくはFAXにてご連絡ください。お電話

番号を記載していただければ、折り返しにてご対応させていただきます。